

6-3 伝統や文化、自然遺産に学ぶ教育の充実

○脊椎動物化石の保護・活用事業

「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」に基づき、篠山層群及び脊椎動物化石の調査・研究と保護・活用を進めるとともに、全ての小学校で篠山層群や化石について学ぶ校外学習プログラムを実施します。また、初任者教員の研修に、篠山層群と化石の内容を取り入れます。



小学生の化石学習
(西紀南小学校)

施策の基本方向7 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

7-1 人権尊重の精神に基づく「共生」の心の育成

○あいさつの実践

あいさつは篠山市を挙げて取り組む、人権施策の大きな柱です。学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動を継続し、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざします。



あいさつ運動(味間小学校)

7-2 ふるさと篠山を愛する心の育成

○郷土を知る取り組み

「うりぼう検定問題集」の活用や、世界平和アピール七人委員会との連携と地域との交流による写真教室を開催するなど、ふるさと篠山をテーマとした教育活動を展開します。



地域の巨木に触れる
(西紀小学校)

○ふるさと篠山探訪事業の実施

教職員や児童生徒が校区を巡ることで地域をより深く知り、名所旧跡、自然、産業など、地域の良さやふるさとの恵みに触れる活動を実施します。

○篠山の魅力に学ぶ社会教育事業(※)

「篠山市民文化講座」「丹波ささやまおもしろゼミナール」「古文書入門講座」など、篠山の歴史・文化・伝統・自然に触れる社会教育事業を通して、篠山の魅力を伝える地域人材の育成に努めます。

7-3 学校給食の充実と地産地消の推進

○篠山産コシヒカリ・地元食材を活用した学校給食の充実

主食となる米飯や米粉には、篠山産コシヒカリを100%使用するとともに、米飯給食を週4回実施します。また、「篠山まるごと丼」を献立にするなど、地元食材の活用率向上に努めます。



「篠山まるごと丼」給食

○特色ある献立づくりの充実

幅広い食品の使用と多様な調理法を取り入れ、「食」の大切さを感じる献立づくりを進めます。また、食育での交流を深めている愛媛県愛南町との「交流給食献立」を実施します。



食文化の継承(郷土味学講座)

○食文化の継承と創造(※)

「郷土味学講座」や「かぞくdeおいしなぼクッキング」の実施により、食文化の継承と創造、家庭の食育力の向上に取り組みます。

本文中、事業名の後に「※」印のあるものは、市長部局で主管します。

平成27年度

主要施策版

篠山の教育

～第2期「篠山きらめき教育プラン」に基づく教育を推進します～



イチョウの葉っぱがいっぱい! (幼稚園の自然体験活動)

がくしゃ 「学舎は焼くとも教育焼くな」

1883年(明治16年)、当時の篠山中学校の校舎が火事になったとき、青山忠誠(篠山藩第13代藩主青山忠良の十男)が残した人材育成の大切さを表す言葉です。私たちは、「成長社会」から「成熟社会」へと変わりゆく現在を生きています。先人の言葉に深く思いを馳せ、次代を担う子どもたちの心豊かな人づくりを通して、明るい篠山市の未来を創り上げていきます。

平成27年度 篠山の教育 (主要施策版)

発行：篠山市教育委員会 (兵庫県篠山市北新町41)

問い合わせ：篠山市教育委員会教育総務課 TEL079-552-5709

篠山市教育委員会

●●●●●●●●●● 教育理念 ●●●●●●●●●●

『一人一人が光り輝き、生きがいをめざす』

～子どもが一所懸命に学び、地域とともにある学校づくり～
～学びの機会を充実し、学習の成果が実感できるまちづくり～

●●●●●●●●●● 教育目標 ●●●●●●●●●●

次代に向けた教育環境づくりを進めます

- ☆味間認定こども園の施設整備を進めます。
- ☆安全安心な学校づくりのため、計画に基づき学校施設の改修を実施します。
- ☆多紀地区3小学校(福住小学校、大芋小学校、村雲小学校)における学校適正配置を実施します。

乳幼児期における「生きる力」の土台を育みます

- ☆「眠育」「食育」「あそび」を総合的に推進します。
- ☆子ども・子育て支援事業計画に基づく事業を推進します。

子どもの「生きる力」を培い「創造性」を伸ばします

- ☆豊かな心を持ち、自立して未来を生きる人材を育てる教育を推進します。
- ☆コミュニティ・スクールの導入など、地域とともにある安全安心な教育づくりを推進します。
- ☆情報モラルの啓発をはじめとして、青少年の健全育成を推進します。
- ☆子どもの読書活動を推進するため、学校における読書環境の整備充実を図ります。

学びの成果が実感できるまちづくりを進めます

- ☆生涯にわたってスポーツ活動に取り組める機会の充実と環境の整備を図り、市民の健康増進を支援します。
- ☆学習ニーズに応える学びの場を提供し、社会教育の振興に寄与します。
- ☆「図書館ビジョン」に基づき、図書館の蔵書整備・レファレンスサービスの充実、知的空間の創造に努めます。
- ☆「市民ミュージカル」をはじめとして、市民が主体となる文化芸術活動を展開します。

郷土を愛し地域を誇りに思う人材の育成を推進します

- ☆国史跡の活用を推進するなど、歴史文化を活かしたまちづくりを展開します。
- ☆「視聴覚ライブラリービジョン」に基づき、地域映像を活用した人づくり・まちづくりに取り組みます。
- ☆たんば田園交響ホールでのボランティアスタッフ育成と市民協働による舞台創造に取り組みます。
- ☆地元食材や伝統料理を活かし、食の大切さに気づくことのできる学校給食と食育推進を展開します。

施策の基本方向1 自立して未来を切り拓く態度の育成

1-1 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

○キャリア形成の支援

「キャリア教育推進体制の整備」「夢や目標を持ち、具体的な計画を立て、それに向かって進んでいく力(キャリアプランニング能力)」「社会参画への意欲・態度等の育成」「多様な体験活動の実施」を通して、社会的自立に必要な態度や能力を育てます。



林業体験(丹南中学校)

○スクールブリッジ事業の推進

小規模小学校間での交流(小中連携)による合同授業や集団活動を通して、様々な価値観に触れさせ、人間関係を築く力の育成、学習意欲の一層の向上を図ります。



乳児との触れ合い(西紀中学校)



田植え体験(城東小学校)

○小中連携心のサポート事業の実施

9年間の発達や学びの連続性を踏まえ、キャリア形成の支援や「生きる力」の育成が図れるよう、小中連携のあり方について、実践的な研究を行います。また、小・中学校連携の充実を図ります。

1-2 体験教育の推進

○環境体験事業・自然学校の充実

小学3年生を対象とした環境体験事業や小学5年生を対象とした自然学校を実施し、自然に対する豊かな感性、命を尊ぶ心、問題を解決する力など、児童の「生きる力」を育みます。



自然学校カヌー体験(城北畑小学校)

○トライやる・ウィークの充実

地域の中で行う社会体験活動を通して、感性や創造性を高め、自らのあり方や生き方、地域とのつながりを考えるきっかけになるよう、生徒の主体性を尊重した活動の推進に取り組みます。



トライやる・ウィークの活動(篠山中学校)

1-3 グローバル化に対応した教育の推進

○外国語指導助手(ALT)の活用

ALTを活用し、外国語で自らの考えや意見を述べるなど、コミュニケーション能力を育成します。小学校では、指導主事等による外国語活動の支援を充実します。



中学校教員による外国語活動(今田小学校)



交流留学生との活動(篠山東中学校)

○「わたしたちの篠山市」「篠山ふるさとガイドブック」の活用

小学校社会科の補助教材に、3・4年生は「わたしたちの篠山市」を、5・6年生は「篠山ふるさとガイドブック」を活用し、篠山市の様子や自然・歴史・文化について学ぶ取り組みを充実します。

施策の基本方向2 子どもが健全に育つ環境づくりと就学前教育の推進

2-1 “子育ていちばん”に向けて

○幼児のうたまつりの実施

市内の認定こども園・幼稚園の4・5歳児を対象に、プロの演奏家による生の音楽に触れる機会を提供することで、豊かな感性を磨き、情緒の安定を図ります。



寝顔写真展(今田保育園)

○乳幼児の心身づくり

全ての公立認定こども園・保育園・幼稚園で、園を離れ地域の中で活動する保育や、枝豆のもぎとりなど季節物や特産物を生かした保育に取り組み、子どもたちの健全な心身の育成を図ります。

2-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

○ふた葉プロジェクトの推進

乳幼児期の「眠育」「食育」「あそび」を総合的に推進するため、「ふた葉プロジェクト」を継続し、家庭と連携しながら、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に取り組みます。眠育では、「寝顔写真展」の実施、食育では、在宅栄養士や「食育だより」による啓発、あそびでは、自然あそびや運動遊びの実施を、事業推進の柱とします。



体幹トレーニング(味間認定こども園)

2-3 幼保一体化の推進と就学前教育の充実

○味間認定こども園の施設整備

2カ所に分かれている施設(おとわ園、すみよし園)を1つとすることで、長時間保育が必要となる園児をより多く受け入れ、適切な保育が提供できるよう、施設整備を進めます。

○子どもの体幹を鍛える取組

全ての公立認定こども園・保育園・幼稚園において、からだの土台・軸を鍛え、動きやすい・転びにくいからだづくりを意識した保育を実施します。また、姿勢を正すことへの啓発を図ります。

○五感を発達させる保育・教育活動

全ての公立認定こども園・保育園・幼稚園において、五感の中で最も原始的な感覚である触覚の発達に向け、粘土遊び、水遊び、砂遊び、泥遊びを実施します。

2-4 子ども・子育て支援の体制づくり

○子育て相談の実施

認定こども園・幼稚園を拠点とした子育て相談窓口「子育てなんでも相談プラザ」の取り組みを継続します。また、臨床心理士の派遣方法を工夫します。

○放課後児童健全育成事業の充実

小学校の授業終了後に保護者の就労等により保育を受けることができない児童に対して、生活の場を提供し、仲間づくりや生活指導を行います。

施策の基本方向3 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

3-1 確かな学力の確立

○確かな学力の定着

学力を「学力の樹」としてとらえ、確実に定着させていくための取り組みを推進します。また、学校・家庭・地域の力を向上させる「知の森」づくりを通して、学力の向上をめざします。



算数授業「ハートーク」(篠山小学校)



異なる学年間での交流(城南小学校)

○篠山市学力・生活習慣状況調査の実施

篠山市独自の学力・生活習慣状況調査を継続して実施し、学力の定着状況を把握・分析するとともに、効果的な指導方法を検討し、普及・啓発を行います。



篠山市学力調査の様子(岡野小学校)



研究発表会の様子(村雲小学校)

○学力向上プロジェクト事業

「学力向上プロジェクトチーム」を設置して、確かな学力の定着に向けた方策を研究します。また、フォーラムを開催し、学校と家庭・地域が連携した学力向上の方策を発信します。

○基礎的・基本的な知識技能の確実な定着、学習習慣の確立

各教科の問題をデータベース化し、授業や学習の目的に応じたプリントが簡易に作成できるよう、環境整備を行います。また、学習タイムや読書タイムの充実を図ります。



絵本の読み聞かせ(大山小学校)

○思考力・判断力・表現力等の育成

各教科等において「考えを深める」「書く」「表現する」活動を強化し、思考力・判断力・表現力を育み、学力向上を推進します。

3-2 豊かな心の育成

○道徳教育の充実

全体計画や年間指導計画を見直すとともに、「私たちの道徳」、「兵庫版道徳教育副読本」、「地域教材」を活用し、主体的に人生や社会を切り拓く人づくりの基盤としての道徳性を培います。



点字学習の取組(福住小学校)

○学校における人権学習の充実

全ての教育活動を人権教育の視点でとらえ、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。中学校では、全生徒が人権作文に取り組む機会を設定します。

3-3 健やかな体の育成

○「篠山市小・特別支援学校陸上記録会」の実施

小学校・特別支援学校の小学6年生が一堂に会した陸上競技の記録会を実施し、運動能力の向上と体力づくりへの関心・意欲を高めるとともに、児童が交流する機会とします。



体育での跳び箱(西紀北小学校)

○体力・運動能力調査の実施

児童生徒の体力・運動能力の実態と傾向の把握や分析を行い、体力・運動能力の向上に向けて実践する取り組みを推進します。また、生涯にわたるスポーツを楽しもうとする意欲の向上を図ります。

○少年期における胃がんリスク防止の取り組み

中学1年生を対象に、胃がんリスクの原因であるピロリ菌尿中抗体検査を実施し、感染状況を把握することで、感染者の除菌治療につなげます。

3-4 特別支援教育の充実

○「サポートファイル」の活用と「ささやまキッズ発達支援チーム」の設置

一人一人の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画(サポートファイル)」を保護者とともに作成し、関係機関との連携・協力による支援を行います。臨床心理士や特別支援担当教員等による支援チーム(ささやまキッズ発達支援チーム)を結成し、各学校園への巡回相談を行います。



車イスバスケットボール(篠山養護学校)

○特別な支援を必要とする子どもの早期発見・早期支援

臨床心理士、保健師等が認定こども園・保育園・幼稚園を訪問し、観察、助言、指導を行います。また、マークシートによる子どもの発達スクリーニング検査を実施します。

施策の基本方向4 子どもの学びを支える環境づくりの推進

4-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり

安全管理、安全教育、組織活動を通して、未然防止、救急対応に係る体制を充実し、安全で安心な学校園づくりを進めます。また、地域学校園安全委員会を組織し、情報の共有化を図ります。



安全マップづくり(古市小学校)

○学校施設の大規模改修

城北畑小学校、味間小学校、今田中学校で大規模改修工事を実施します。また、吊り天井や照明機器など非構造部材の耐震化に向け、計画的に取り組めます。

4-2 地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクールの推進

コミュニティ・スクール研究推進校を指定し、家庭・地域がより主体的に学校運営に参画する新しい学校運営や効果的な教育活動の実現に向けた研究に取り組めます。



地域とともに行う文化祭(大宇小学校)

○子どもの居場所づくり推進事業の充実

地域が関わり子どもを育む「通学合宿」や「トライしようDAY」を通して、地域の教育力の向上をめざします。

4-3 家庭の教育力の向上

○PTCAフォーラムの開催

地域課題の解決につながるテーマを設定し、学校・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を考える機会を提供します。また、大人が責任を持って子どもの規範意識や道徳性を高められるよう、啓発に力を注ぎます。



啓発劇「スマートフォンを考える」

4-4 教職員の資質能力の向上

○いじめの防止等への的確な対応

いじめ対応チームを中心に年間計画を整備し、いじめの未然防止・早期発見に努める体制づくりを推進します。また「学校いじめ防止基本方針」に基づき、適切かつ迅速な対応を行います。



校内授業連絡会(八上小学校)

○篠山市教育支援センターの充実

平成27年度から、教育支援センターの事務所機能を教育委員会事務局内に移すとともに、スクールソーシャルワーカーを配置するなど、児童生徒支援・学校支援の体制強化に取り組みます。

○子どもと向き合う時間の確保

「元気で明るい職場づくり～声を出してすすめようノーマンデー～」をテーマに設定して教職員の勤務時間の適正化を図るなど、子どもと向き合う時間の確保を推進します。

4-5 インターネット社会への対応

○情報モラル教育や青少年育成の推進

インターネットの特性を踏まえ、コミュニケーションのあり方、情報発信に伴う責任、長時間利用による心身の健康への影響等について、児童生徒が自ら判断し考える学習活動の充実を図ります。また、保護者に向け、「子どもの成長に合わせた適切なインターネットの利用」「家庭のルールを子どもと一緒に考える」「携帯電話等へのフィルタリング設定」を啓発します。

4-6 保幼小中高大の連携

○保幼小連携の強化

小学校へのスムーズな移行をめざし、認定こども園、保育園、幼稚園と小学校の交流を深め、連携を強化します。

○神戸親和女子大学との事業連携

「スクールサポーター制度」を効果的に活用して、教育活動への学生の参画を推進するなど、協定に基づき、大学と篠山市の教育の充実・発展をめざします。



小・中学校交流会での合唱披露(今田中学校)

4-7 学校の適正規模・適正配置

○多紀地区における小学校適正配置の推進

統合準備委員会を組織し、統合に向けた準備を進め、地域とともに新しい学校づくりに取り組みます。

施策の基本方向5 市民が主体的に参画する生涯学習づくりの推進

5-1 「生涯学習」＝「3つのライフステージ」という考え方

○学習の成果が実感できる取組

教育事業全体において、誰もが学習の成果を実感できるよう、3つのライフステージ(①就学前、②義務教育、③社会教育)の段階を踏まえた学習機会の創出に努めます。

5-2 学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興

○公民館における社会教育事業の充実(※)

「高齢者大学」「青少年想像力・行動力開発プログラム事業」「家庭教育支援事業」など、市民ニーズを踏まえながら、誰もが主体的に学べるよう多様な学習機会を提供します。

○「図書館ビジョン」による図書館の運営

「図書館ビジョン」に基づき、資料の収集、レファレンスサービスの充実、市民センター図書コーナーの充実などに努めるなど、あらゆる世代に応じたサービスを提供します。また、地域資料整理サポーターによる地域資料の整理・保存と、郷土資料等の電子書籍化を計画的に行います。

○視聴覚機器を活用した教育活動の支援と地域映像の活用(※)

「視聴覚ライブラリービジョン」に基づき、視聴覚機器を活用して教育活動を支援するとともに、人づくり・まちづくりに繋がる視聴覚教材資料を制作します。また、地域の出来事やまちづくりの取り組みを映像で記録・保存し、インターネットを活用して広く周知します。

○市民による手作りミュージカルの実施

市民で制作、運営、出演を行う手作りのミュージカル「王子と少年」を実施し、心の触れ合う文化芸術を育みます。



地域資料整理サポーターの活動(中央図書館)



編集室の無料開放(視聴覚ライブラリー)



全てが手作り(市民ミュージカル)

5-3 生涯スポーツの充実

○スポーツ活動の充実と推進

スポーツを通じた健康づくりと誰もが取り組めるスポーツの普及・啓発を行うため、スポーツ推進委員会による活動を推進します。また、篠山ABCマラソン大会を継続して開催します。

○SASAYAMA2020

東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホッケー競技の普及・啓発を核として、市民のスポーツ活動に対する機運を高め、生涯スポーツ社会の実現をめざします。



沿道の温かい声援(篠山ABCマラソン大会)

施策の基本方向6 文化・自然遺産を生かした教育・まちづくりの推進

6-1 文化財と町並みの保存・活用

○篠山市歴史文化基本構想推進事業の実施

荘園文化フォーラムの開催や丹波立杭登窯、追手神社のモミの木の保全など、地域主体で行う歴史文化まちづくり資産の保存・活用の取り組みを支援します。

○篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用

篠山地区、福住地区の重要伝統的建造物群保存地区内にある伝統的建造物等の保存修理と保存地区のまちづくりを地区住民と連携して進めます。



賑わう町並み(ササヤマルシェの取り組み)

6-2 文化・芸術の振興

○篠山市展の充実

作品の展示・顕彰により市民の創作活動の奨励と芸術文化の振興を図るとともに、丹波焼をはじめとする篠山市の伝統工芸の展示を通して篠山市の伝統文化を発信します。

○交響ホール主催事業の実施

「桂文珍ふるさと独演会」や「ちめいどソロコンサート」など、子どもから大人まで誰もが楽しめる魅力ある公演を実施するとともに、市民自らが企画する市民企画事業を支援します。



ギャラリートーク(篠山市展)